

インディアカ

◆用具

インディアカ(専用ボール 長さ25cm・重さ50g)、バドミントン用支柱・ネット

◆貸出数

インディアカ7個

◆人数

試合は4人対4人(選手交代は3名までとし、監督は選手を兼ねることができる)

◆会場・コート

屋内・屋外対応

バドミントンコート(13.40m × 6.10m)



◆競技

(1) 競技の進め方

- ①ジャンケンで勝ったチームがサービスかコートのいずれかを選ぶ。
- ②後列右の競技者がアンダーハンドでサービスを行う。
- ③各チームは、インディアカ(専用ボール)を自陣コート内の床に落とさないよう、打ち合う。
- ④15点先取制で、14対14になった場合は、2点を勝ち越したチームが勝者となる。
- ⑤3回以内のプレイで相手に返すこと。ただし、ネットにインディアカが触れた場合はもう一度プレイが可能。

(2) ルール

・サービス権を持っていないチームはポイントを得ることができません。ただし、以下の①～⑨の場合、サービス権を持っているチームは相手に1点与える。

- ①インディアカが地表に触れたとき。
- ②同一チームが4回以上続けてプレイしたとき。
※同一チームの2人の競技者が同時にインディアカに触れた時はブロッキングを除き、2回プレイしたものとして数える。
- ③インディアカが競技者の手または腕などに静止したとき、またはすくったり、押し付けたりしたとき。
- ④インディアカを肘より先の部位以外でプレイしたとき。
- ⑤インディアカがネットの上を完全に通過しなかったとき。
- ⑥インディアカをネットに引っ掛けたり、支柱に触れたさせたり、ネットの下を通過させたとき。
- ⑦同一競技者が2回以上続けてインディアカに触れたとき。
※ただし、インディアカがネットに触れたときは続けて1回だけプレイできる。